

経営概況

2015年3月期 第1四半期の業績

当第1四半期連結累計期間(2014年4~6月)におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、個人消費の落ち込みが見られたものの、その影響は次第に和らぎ、景気は緩やかな回復基調にありました。しかしながら、原油・原材料価格の高騰や新興国経済の成長鈍化が懸念される等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループ(当社および連結子会社)の主な事業分野である携帯電話等販売市場においては、前期末の駆け込み需要の反動等の影響が大きく、販売は低調に推移いたしました。一方、業界全体には第2四半期以降に本格導入される新料金プランが通信事業者より順次発表されてきており、足元の販売市場は回復傾向にあります。

このような事業環境下、当社グループの携帯電話等販売台数は101万台となり、スマートフォンの販売比率は7割弱で推移いたしました。

モバイル事業においては、端末販売減に伴い手数料収入は減少したものの、スマートフォンや

タブレットの販売に絡めた関連商材・サービス等の販売が増加したことに加え、全社的な構造改革を推進し、今後の本格的な業務・コスト効率化実現に向けて基礎固めを図りました。

ソリューション事業においては、法人顧客向け端末販売に伴う収益は前年同期並みを確認いたしました。固定回線系商材の販売が低調に推移いたしました。

決済サービス事業他においては、EC(電子商取引)やSNS(Social Networking Service)上での決済に利用できるPIN販売システムを用いた電子マネー系商材の販売が伸び悩んだものの、ギフトカードの販売は堅調に推移いたしました。また、海外事業を積極的に展開いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高1,269億59百万円(前年同期比24.8%減)、営業利益25億31百万円(同28.5%減)、経常利益25億31百万円(同28.1%減)、四半期純利益13億28百万円(同33.6%減)となりました。

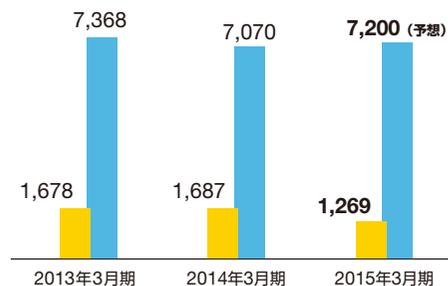
配当の推移(株式分割後)



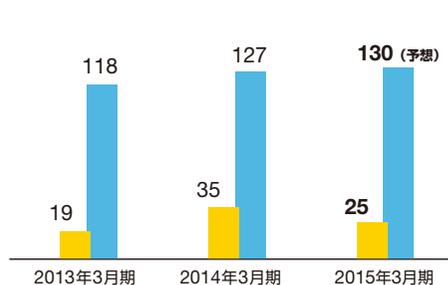
※2012年3月期以前の数値につきましては、2012年10月1日に効力が発生した普通株式1株を200株とする株式分割を勘案した数値を掲載しております。

第1四半期連結業績ハイライト

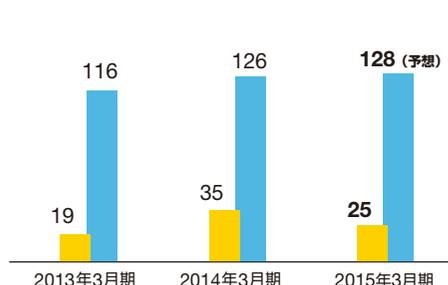
売上高 (億円)



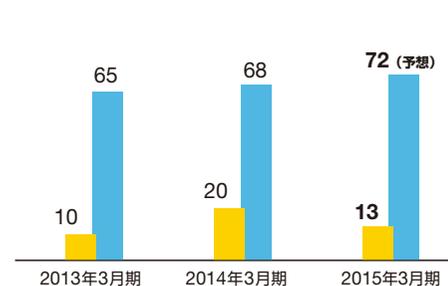
営業利益 (億円)



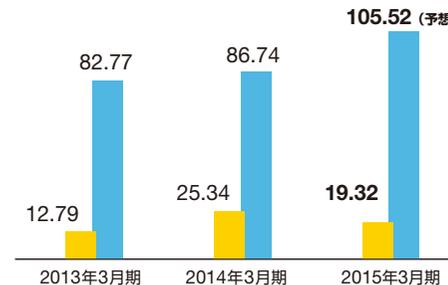
経常利益 (億円)



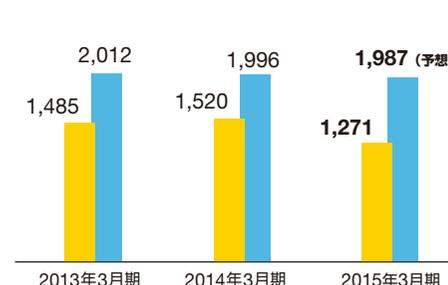
四半期(当期)純利益 (億円)



1株当たり四半期(当期)純利益 (円)



総資産 (億円)



※2013年3月期の1株当たり当期純利益につきましては、2012年10月1日に効力が発生した普通株式1株を200株とする株式分割が期首に行われたと仮定して算定しております。